

新型コロナワクチン接種情報<<1>>

折込の<<2>>もご覧ください

★新型コロナワクチンは、発症予防効果があります

ワクチンは、感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めるために接種され、個人の発症・重症化予防や、社会全体での感染症の流行を防ぐことが期待されます。2月14日にはファイザー社の新型コロナワクチンが国内で薬事承認されました。このワクチンについても、発熱やせきなどの症状が出ることを防ぐこと（発症予防効果）が海外*および国内の臨床試験で確認され、2月から医療従事者の先行接種が開始されます。

*ファイザー社ワクチンについて、海外で、実際にワクチンが入っているかを明かさずに、ワクチンの入った注射をしたグループと、ワクチンが入っていない注射をしたグループを比較したデータがあります。それによると、ワクチンが入った注射をしたグループでは、新型コロナウイルスの感染症の症状が出た人の数が、ワクチンが入っていない注射をしたグループよりも95%少なかったと報告されています。現時点では、発症予防効果が確認されたものの、ウイルスの感染そのものを予防する効果までは明らかになっていないため、接種後も感染予防対策は必要になります。インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%です。（令和3年2月16日現在）

★どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります。

ワクチンの接種後は、体内に異物を投与するため、副反応が起こることがあります。治療を要したり、障害が出るほどの重度なものは、極めてまれではあるものの、何らかの副反応が起こる可能性を無くすことはできません。

ファイザー社のワクチンの副反応は、接種後数日以内に接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱などが報告され大部分は数日以内に回復しています。接種後短時間で表れる可能性のある重症なアレルギー反応（アナフィラキシー）などの副反応には、接種後 15～30分は接種場所に待機し、健康観察を行います。会場や医療機関では医療品の準備をし、医療従事者が必要な対応を行います。アナフィラキシーショックの発症頻度は、米国では100万人に5人と報告されています。



★ワクチンの接種には優先順位があります。

ワクチンは、全国民に提供できる数量を確保することを目指していますが、一度に全員分は配分されません。配分量は国や道が決定し、限られた数量での実施となるため、まず重症化リスクの高い方に接種することで、重症者や死亡者を減らすことが期待されます。また、医療提供体制を守ることも大切です。

以下は国が想定しているスケジュールです。市もこれらをもとに準備を進めています。

	3月	4月	5月	6月	摘要
医療従事者	接種				
高齢者	接種券印刷・発送	接種 4月1日以降			
その他	接種券印刷・発送		接種		基礎疾患がある方や高齢者施設などで従事している方の接種を優先する予定です。

★必ず事前予約が必要です

接種を希望する方は、必ず予約をしてください。ワクチンの配送数に応じた予約となりますので、時期によっては予約を取りにくくなることも想定されます。予約先、予約方法などは決まり次第お知らせいたします。



★接種券は住民基本台帳に記載されている住所にお送りします

3月中旬以降、高齢者の方に接種券をお送りする予定です。事情により、住民基本台帳に記載されている住所で郵便物を受け取れない方は、郵便局で転送の手続きを行うことで、郵便物を転送することができます。接種券が確実にお手元に届くよう、忘れずに手続きをお願いいたします。

問合せ先 市保健係 ☎52-3106